

新型大口径光ファイバカッタ「CT105+シリーズ」の販売を開始

株式会社フジクラ

2021年4月26日

株式会社フジクラ（取締役社長 CEO 伊藤雅彦）は、このほど、新型大口径光ファイバカッタ「CT105+シリーズ」の販売を開始しました。

大口径光ファイバは、主に高出力の光エネルギー伝送が必要なファイバレーザの製造などに使用されています。大口径光ファイバにおいて良好な切断角を得るためには、最適な光ファイバ把持力や切断時の張力を設定する必要があります。把持力が強すぎる場合、光ファイバ被覆が変形し、光エネルギーの伝送特性に影響を及ぼす可能性があります。一方、把持力が弱すぎる場合、切断時の張力で光ファイバが滑り、良好な切断角が得られない可能性があります。

新型大口径光ファイバカッタ「CT105+シリーズ」は、最適な光ファイバ把持力を自動で検出する機能を搭載しました。これにより、従来と比べ高精度な光ファイバ把持力を短時間で設定することが可能です。また、切断刃の設計を見直し、光ファイバの切断可能回数を大幅に向上させることに成功しました。

大口径ファイバ、多角形ファイバ、フォトニック結晶ファイバ、キャピラリ（中空ガラス管）など、様々な光ファイバに適用可能な大口径光ファイバ用カッタ「CT105+シリーズ」を是非お試しください。

詳細につきましては、下記 URL をご参照ください。

<https://www.fusionsplicer.fujikura.com/jp/>

